



学童保育 はじめました



大変助かっています

蓮井ひろみさん(33) 有漢町有漢

4月から学童保育ができて利用させてもらっています。有漢学童保育は、新しくできた有漢地域センター内にあり、小学1年生から4年生までの11人の子どもたちが通っています。私には、3歳、4歳、1年生、2年生の4人の女の子がいて、昨年から仕事を始めました。今までは子どもが家に帰っても自分たちだけで過ごすといった

こともあって心配な面が多かったのですが、学童保育や預かり保育ができて、私が迎えに行ける午後5時まで見てもらえるので大変助かっています。近所に同学年のお友だちがいないので、ここで楽しく遊ぶことができ子どももとても喜んでいて、4月からは安心して働けるようになりました。



子育ての手助けに

高倉学童保育運営委員長

藤井昌弘さん(52) 高倉町飯部

4月6日、始業式に合わせて学童保育を開所しました。一年ぐらい前から、PTAの要望が出ていて実現することができました。これまで、学校が終わっても子どもを預かってくれる施設がなかったために、他の学区へ子どもを通わせるを得ないといった人もいました。学童保育ができて、子どもの送迎のためにパートタイムでしか働けなかった人が、フルタイムで働ける

ようにもなりました。開所の際に、またその後も、学校側が全面的に協力してくれました。場所は休園になつていて小学校隣の幼稚園舎を活用することができて、指導員の確保もスムーズにいきました。始めたばかりで、運営方法など分からないことも多いので、他の学童保育との情報交換の場があればと思っています。

高倉学童保育と有漢学童保育が、4月から地域・保護者に運営委託する形で始まりました。指導員の給与負担など経費面は、市が負担します。

学童保育を設置するには？

自分たちの地区にも学童保育をつくってほしいと検討されている場合は、社会福祉課までご相談ください。

利用予定の児童数や場所など、その地区の状況をお聴きし、条件が整えば設置していきます。

学童保育は、平成10年4月に「放課後児童健全育成事業」という名称で法制化されました。「国、県及び市町村は、児童の保護者とともに、児童を心身ともに健やかに育成する責任を負う」と定められています。

学童保育の推進は、保護者が子育てに責任を持ち、家庭、地域、学校、関係団体と行政が一体となって取り組んでいくことが重要です。

■問い合わせ 社会福祉課
児童福祉係(TEL)0264

生活の悩み相談受け付けます

「にここ広場」おしゃべりタイム

吉備国際大学、家族福祉研究会(代表・社会福祉学部、内田節子教授)では、子どもからお年寄りまで、すべての人が豊かに生き生きと生活できるように、さまざまな相談に応じています。

友だちづきあいの悩みや、子育て・介護、ご夫婦の問題など、一人で悩まず、みんなで楽しくおしゃべりしながら、解決のヒントを見つけていきましょう。

●**場所** 高梁栄町商店街「にここ広場」(空き店舗を利用したもの)

●**日時** 毎月第4土曜日の13時〜16時

●**対象** どなたでも相談できます。

●**内容** 吉備国際大学の教員が相談スタッフとして待機しています。また、常時、保育スタッフ



新高梁市発足記念

6月25日 **わくわく子どもフェスタ21** 開催

ステージ出演者募集



「わくわく子どもフェスタ21」を今年も6月25日(土)に開催します。

同フェスタは、高梁栄町商店街を歩行者天国にして、子育て関係団体等によるフリーマーケットや手づくり遊び、食べるコーナーなど、“つくって”、“遊んで”、“見て”楽しむ参加型のイベントです。親子で楽しんでください。

特設ステージは、歌や踊りなど多くの子どもたち(中学生以下)の発表の場とします。このステージでの出演者を募集していますので、ふるって応募してください。

■**問い合わせ**
わくわく子どもフェスタ21実行委員会
(社会福祉課内) TEL②0264



や学生ボランティアによるふれあい遊びや手づくり遊びなど、楽しい遊びも用意しています。お子さん、お孫さんとご一緒に気軽にお越しください。

●**参加料** 無料

■**問い合わせ** 吉備国際大学社会福祉学部実習準備室 (TEL②9237)

子育てボランティア情報

定年退職した教師が夏休みに学習指導

旧成羽町では、夏休み期間中に5日間、希望する小学生を募り、定年退職した教師6人が、ボランティアで勉強を教える「夏期学習」を行っています。

完全学校週5日制により授業時数が減つたのを受けて、基礎学力を身に付けてもらおうと平成14年度から始めたものです。

成羽小学校内にある学童保育の施設を利用し、対象は、小学1年生から中学3年生まで。午前9時から11時までの2時間、小学生には国語と算数、中学生には数

学と英語を教えます。夏休みの発明工夫のヒントや学習課題などの糸口を付けてあげ、郷土を知ってもらうため文化財をめぐるハイキングや化石の学習も行いました。

最初は10人ぐらいの子どもたちの参加でしたが、昨年は50人を超えるほどの人気になりました。

成羽公民館では、今年度も実施を計画。成羽町内の小中学校だけでなく周辺の学校にも希望者を募ることにしています。

■**問い合わせ** 成羽公民館 (TEL④2525)